

クリーンセンターで回収したCO₂の地域循環モデルを開始
資源循環及び脱炭素化の推進に関する
連携協定を締結します。



ゴール 13

2025 年 8 月 13 日

郡山市環境部

資源循環課

課長 佐藤 伸治

TEL : 924-2758

SDGs ゴール 13 「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」

本市と川崎重工業様により富久山クリーンセンターで実施している CO₂ 分離・回収技術の実証試験について、地域企業にも参画いただき、富久山クリーンセンターの CO₂ を地元で循環活用する「郡山モデル」の構築に向けた取組みを始めることとなりました。

この事業の開始にあたり、本市と企業 4 社で協定を締結します。

- | | | | |
|---------|--|----------|--|
| 1 日 時 | 8 月 20 日 (水) 午後 2 時 | | |
| 2 会 場 | 市役所特別会議室 (本庁舎 2 階) | | |
| 3 出 席 者 | 川崎重工業株式会社 | | |
| (順不同) | 執行役員 I 社長・ソリューション&マリカパニープラントデベロップメント部長 | 眞田 健司 様 | |
| | エア・ウォーター東日本株式会社 | | |
| | 常務執行役員 東北支社長 | 樋口 貴哉 様 | |
| | 東部ガス株式会社 | | |
| | 取締役社長 | 穴水 一行 様 | |
| | 日東紡績株式会社 | | |
| | 富久山事業センター センター長 | 五十嵐 和彦 様 | |
| | 郡山市長 | | |

4 協定の内容

本市ごみ焼却施設の排ガスから CO₂ を分離・回収し、さらに燃料化して地域で循環活用できる脱炭素循環事業モデル構築に向けた取組みに関する連携協定

5 事業の概要

川崎重工業と本市は、令和 5 年 3 月 16 日に締結した「ごみ処理施設から発生する排ガスを対象とした CO₂ 分離・回収技術の実証試験実施に関する協定」に基づき、川崎重工業が開発した固体吸収材を用いた省エネルギー型 CO₂ 分離回収システムを用いてごみ焼却施設排ガスへの適用性について評価検討を進めてきました。

今年度からは本技術による CO₂ 分離・回収に関する技術的検証を行い、そこで得られた知見を各社との連携協定における取組みに活用するとともに、ごみ焼却施設での CO₂ 分離・回収を社会実装した際の運用面等での課題を抽出し、その解決に向けた検討を行っていきます。